

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	20	学校名	仙台市立六郷小学校	校長名	石橋 雅之
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「“ちょっと”の意識で地球の“ずっと”へ」



2 取組の紹介

①ごみを減らす取り組み

<ごみの分別>

各教室には、「家庭ごみ用」「プラスチックごみ用」の2種類のごみ箱を設置しています。職員室には、その2種類のほかに、「ビン・カン」「ペットボトル」、そして古紙回収ボックスも設置しています。教室で出たごみも古紙回収できるものは、教室のごみ箱に入れず、古紙回収ボックスに入れていきます。



<牛乳パック>

給食で出た牛乳パックは、折りたたみ、牛乳パックに詰めてまとめています。しっかり折りたたむことで、牛乳パックに詰められる数が増え、ごみの大きさが小さくなります。



○廃材の再利用

<コピー用紙の包装紙の活用>

4年図画工作科の「版画」の学習では、節水のためにインクパレットの上にコピー用紙の包装紙を敷いてからインクを使用しました。使い終わったあともパレットを洗う必要がなくなり、節水につながるだけでなく、水道に流すインクの量も減らすこともできました。



<ティッシュの空き箱の活用>

5年家庭科の「身の回りのものを整理しよう」の学習では、身近なもので収納アイテムを作成しました。新しいものを買うのではなく、あるものを再利用しながら、今の生活に便利さを取り入れています。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

ごみの分別は入学当初から行っていますが、今年度プラごみの内容が変わったこともあり、ごみを捨てる際、どっちのごみ箱に捨てるべきか考えながら行動している姿がよく見られます。牛乳パックをまとめる作業では、より多くのパックを詰めることができるようにとゲーム感覚で取り組んでいる姿も見られます。そこから“ごみを小さくまとめる”という意識が芽生え、習字の片付けのときも墨をふき取った紙を小さく折りたたむなど、ごみ箱への捨て方にも変化が出てきました。

<ティッシュの空き箱の活用>より

家で材料を探したところ、廃品回収に出したばかりだったので、ティッシュの空き箱を利用しました。お道具袋の中だと他の物の下になってしまう小さいものを入れていました。机を運ぶときに邪魔にならないように使いながら改良してきました。便利になっただけでなく、愛着もわいてきて、作ってよかったです。

